

【調査速報1】 ^{かねがもりにし} 守山市金森西遺跡

古墳時代の玉作り



古墳時代の掘立柱建物と溝

●平成 23 年度から行ってきました金森西遺跡の発掘調査は、平成 25 年 10 月末で現地調査が完了しました。調査の結果、古墳時代前期(4 世紀頃：約 1700 ~ 1600 年前)を中心とする掘立柱建物や竪穴住居からなる集落跡と、多量の土器類や石製品、木製品が出土した幾条もの河川、溝などがみつかりました。金森西遺跡では網の目のように流れる小河川の間の微高地上に、点々と集落が営まれていたと考えられます。

集落跡付近の河川や溝からは、玉作りに関わる遺物も多く出土しました。石の材質から「緑色凝灰岩製品(りよくしよくぎょうかいがんせいひん)」と「滑石製品(かつせきせいひん)」に大別することができます。緑色凝灰岩で作られた遺物は管玉に限定され、研磨時に欠損したものや、穿孔時に孔の位置がずれた失敗作もあり、製作工程を復元することができます。製作途中に大型の剥片が確認できないことや、管玉を作ることができるサイズの剥片は執拗に加工を試みていることから、無駄なく石材を利用する意図が感じられます。現在、緑色凝灰岩の産出地が滋賀県内で確認されていないことから、石材の入手が困難な貴重品であったことが理由かもしれません。

一方、滑石で作られた遺物は、有孔円板、管玉、臼玉、勾玉、剣形、刀子形といった複数の製品が出土しています。緑色凝灰岩と比較すると剥片などは少量で、未製品は有孔円板と管玉だけです。

湖南地域において古墳時代前期では、栗東市の辻遺跡が玉作りの拠点的大規模生産集落と考えられているのに対し、金森西遺跡はそれに次ぐ中規模生産集落として位置づけることができ、集落の動向や他地域との交流のあり方を明らかにするうえでも重要な発見といえます。

(写真：滋賀県教育委員会提供)



緑色凝灰岩製管玉関連石材



滑石製品

須恵器生産関連の集落か？



横山丘陵の麓に営まれた7世紀の集落

■長浜市石田町にある横山城遺跡は、戦国期の横山城に関連する遺跡として知られていました。今年度、県道整備工事に伴って発掘調査を行ったところ、古墳や多くの竪穴住居がみつかりました。

調査地の西端からみつかった古墳は、6世紀代のもので、土器や鉄刀が出土しています。

一方、調査地の東端からは竪穴住居が30棟みつかりました。竪穴住居はいくつも重複してみつまっていることから、同時に30棟が建っていたわけではなく、おそらく数棟ずつが頻りに建て替えられたものと考えられます。住居内から出土する土器などから、建てられていた時期は7世紀代に集中しています。横山丘陵の麓に短い時期に集落が営まれていたことが明らかとなりました。横山城遺跡周辺において、この時期の集落は東上坂町の柿田遺跡が知られています。

竪穴住居から出土する土器には、焼成不良や焼き歪みがある須恵器が多く、このような須恵器はあまり広域には流通しないので、近隣に須恵器窯がある可能性も考えられます。横山城遺跡の竪穴住居群は、須恵器生産に関係する集落ということも、可能性の一つと考えて良いでしょう。

(写真：滋賀県教育委員会提供)



何棟も重なってみつかった竪穴住居



竪穴住居から出土した土器

湖東手桶型水指

滋賀県立琵琶湖文化館蔵

■湖東焼は、江戸時代後期の文政 12 年（1829）、彦根の城下町の商人・絹屋半兵衛らによって始められました。伊万里から職人を呼び寄せ、まずは芹川上流に窯を作り、のちに佐和山の山麓に移転しています。始めた当初はうまくいかないことも多かったようですが、次第に品質もあがって人々に知られるようになりました。

井伊直亮（1794～1850）が彦根藩主であった天保 13 年（1842）、彦根藩に窯が召し上げられたことで藩が経営する「藩窯」となり、それまでの高級品志向に拍車をかけるように、さらなる高級品が生産されました。

井伊直弼（1815～1860）が藩主になると、湖東焼の生産はより一層盛んになりました。直弼は若い頃よりやきものに興味をもちていましたが、嘉永 3 年（1850）に彦根藩主となるや、さっそく藩窯の規模を大きくして盛んに各地から優れた職人を招きました。さらに、窯の経営を見直すなどの改革が行われた結果、窯は「黄金時代」と呼ばれるほどの繁栄をみせました。直弼は、湖東焼の優品を彦根藩の特産品として贈答に用いたといいます。

ところが、安政 7 年（1860）、桜田門外の変で井伊直弼が命を落とすと、大きな後ろ盾を失った藩窯から世情不安にかられた職人たちが次々に離散し、黄金期を迎えていた藩窯はみるみる勢いを失ってしまい、文久 2 年（1862）に廃止となりました。

湖東焼は白く焼き締まった肌を特徴としており、金襴手、赤絵金彩、色絵、染付、青磁など多彩な技法を用いて作られていることから、われわれに多様な姿をみせてくれます。ここで紹介するのは「湖東手桶型水指」です。水指は茶道の点前において茶釜に水を加えたり、茶碗や茶筌を水ですすぐために蓄えておくための器です。湖東焼の特徴であるやや青みを帯びた白い肌に青い染付の柄が映え、手桶をかたどったゆるやかな曲線からなるフォルムも美しい作品となります。胴には羽を広げた鳳凰ときっと前をにらみつける龍が大きく描かれています。

藩窯としての湖東焼は、大名等への贈答品であったことからあまり市井に出回らなかったこと、操業期間が短かったこともあり、幻のやきものと呼ばれることがあります。しかし、その姿は今も多くの人を魅了しています。



湖東手桶型水指



本作品は下記特別陳列で滋賀県立安土城考古博物館に展示されますので、是非お越しください。

琵琶湖文化館所蔵作品特別陳列

琵琶湖文化館秘蔵品で味わう「茶を魅る」

会 期：平成 26 年 1 月 15 日（水）～平成 26 年 2 月 16 日（日）

会 場：滋賀県立安土城考古博物館 第二常設展示室

近江に数ある信楽焼や湖東焼などの「やきもの」の中から、茶陶を紹介します。滋賀県無形文化財「揉み紙」の技術保持者であった故松田喜代次氏制作の揉み紙による風炉屏風とともにお楽しみください。



【イベント情報】

みる・きく・ふれる <1~3月>



■公益財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-548-9780/(FAX)077-543-1525

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場(集合場所)
2/8(土) ・9(日)	10:00~16:30 (各日)	体験 展示	体験トラベル古代へGO!『新発見・近江の歴史』	無	不要	無 体験は300円	イオンモール草津 イオンホール
2/16(日)	9:00~17:00	展示 体験 講座	『あの遺跡は今! PART18』 「木製品にみる古代の知恵と技術」をテーマに報告会・展示	無 (報告会140)	不要	無	滋賀県立安土城考古博物館

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。 ☞ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-548-9681/(FAX)077-548-9682

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場(集合場所)
3/8(日)	9:30~16:30	報告 会	第102回センター研究会 平成25年度滋賀県発掘調査成果報告会 ー土の中から歴史が見えるー	250	不要	無料	コラボしが21 大会議室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。 ☞ <http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc/>

案内

【トピックス】平成25年度刊行・待望の新刊!

発掘調査報告書の予約受付中

■平成25年度(平成26年3月)に刊行を予定している発掘調査報告書の予約を受付けています。当協会が県内各地で行ったさまざまな遺跡の発掘調査の正式報告です。

◇ご予約・お引渡し

お電話でお申し込み下さい。☞ 公益財団法人滋賀県文化財保護協会総務課 TEL(077-548-9780)

また、当協会ホームページ上からもお申し込みいただけます。☞ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

*報告書は刊行次第、メール便または送料着払いでお送りします。報告書の代金+送料は同封いたします郵便局の振込用紙でお支払いいただきます。振込み手数料はご負担をお願いいたします。

◇販売価格

12月末頃に決定します。お電話、または当協会のホームページでご確認ください。

◎刊行報告書一覧

①相谷熊原遺跡(東近江市)

日本列島最古級、縄文時代草創期の土偶が出土。併せて竪穴住居も5棟検出。全国的にも希少な縄文遺跡。

②蛭子田遺跡1(東近江市)

縄文時代晩期から平安時代中期の複合遺跡。とりわけ、古墳時代初頭~古墳時代後期の河川跡からは、多量の土器とともに木材の伐採から製品へと加工過程のわかる資料や建築部材をはじめとする多彩な木製品が出土。蛭子田遺跡報告書の第一弾。

③蛭子田遺跡2(東近江市)

古墳時代初頭~古墳時代後期の河川跡からは、多量の土器とともに木材の伐採から製品へと加工過程のわかる資料や木製壺、完形の曲物容器、建築部材をはじめとする多彩な木製品が出土。蛭子田遺跡報告書の第二弾。

④琵琶湖開発事業関連遺跡(琵琶湖西北部地域)(高島市)

高島市域に所在する西浜遺跡、森浜遺跡、針江浜遺跡、大溝湖底遺跡の成果を所収。湖西地域における弥生時代文化導入期から古代の土器・木製品資料が満載。

⑤琵琶湖開発事業関連遺跡(琵琶湖東地域)(近江八幡市ほか)

彦根市多景島遺跡、近江八幡市長命寺湖底遺跡、岡山城遺跡の成果を所収。湖上祭祀、縄文時代から弥生時代の汀線、足利将軍家ゆかりの水城と多彩な成果。

⑥琵琶湖開発事業関連遺跡(総括編)

主要な湖底遺跡の概要、各遺跡の基本データなどをコンパクトにまとめた。琵琶湖の湖底遺跡を知り、学ぶために必携の一冊。

⑦清滝寺・能仁寺遺跡(米原市)

武家の名門、京極家の菩提寺の調査第2弾。第七代京極高桂の寺「能仁寺」跡の調査結果。石積みを持つ参道、基壇、建物、庭、「仁」文字のある遺物など。

